

平成23年度 ー関西大学ラグビー戦績ー Cリーグ9位で終了

大学Cリーグ

	神戸大学	大阪市立大学	大阪府立大学	大阪国際大学	大阪大学	大阪学院大学	桃山学院大学	佛教大学	神戸大学医学部	追手門大学	勝	負	分	順位
神戸大学		○ 38-24	○ 24-17	△ 24-24	● 10-36	● 7-32	● 12-48	● 19-35	● 15-17	● 8-17	2	6	19	9
大阪市立大学	● 24-38		● 31-54	○ 50-8	● 5-22	● 7-44	○ 33-29	● 26-41	○ 31-0	● 19-33	3	5	0	8
大阪府立大学	● 17-24	○ 54-31		● 43-45	● 14-24	● 14-45	○ 28-22	○ 14-5	○ 17-0	● 24-37	4	5	0	5
大阪国際大学	△ 24-24	● 8-50	○ 45-43		● 5-40	● 10-50	● 13-31	● 19-40	○ 19-14	○ 24-18	3	5	1	7
大阪大学	○ 36-10	○ 22-5	○ 24-14	○ 40-5		○ 21-17	○ 41-19	△ 24-24	○ 39-0	○ 43-19	8	0	1	1
大阪学院大学	○ 32-7	○ 44-7	○ 45-14	○ 50-10	● 17-21		○ 46-19	○ 36-14	○ 65-3	○ 32-10	8	1	0	2
桃山学院大学	○ 48-12	● 29-33	● 22-28	○ 31-13	● 19-41	● 19-46		● 12-33	○ 45-19	○ 43-12	4	5	0	4
佛教大学	○ 35-19	○ 41-26	● 5-14	○ 40-19	△ 24-24	● 14-36	○ 33-12		○ 10-7	○ 17-8	6	2	1	3
神戸大学医学部	○ 17-15	● 0-31	● 0-17	● 14-19	● 0-39	● 3-65	● 19-45	● 7-10		● 12-38	1	7	0	10
追手門大学	○ 17-8	○ 33-19	○ 37-24	● 18-24	● 19-43	● 10-32	● 12-43	○ 8-17	○ 38-12		4	5	0	6

2011年度リーグ戦・試合結果

主務 岡山 和也

誠に残念ながら、平成22年度 わが神戸大学は入替戦で大阪工業大学に破れ、余儀なくCリーグに降格となりました。

今シーズンは、Bリーグへの復帰を目標として奮戦して参りましたが、殊のほか振るわず、最終的に2勝6敗1分でCリーグ9位となり、Dリーグとの入替戦に臨む結果となりました。

第1節 9月18日(日) 11:00 K.O

於: 追手門学院大学G

●神戸大学 19 - 35 ○佛教大学

前半 1 T 3 後半 2 T 2

1 G 8 1 G 2

計 7 - 21 計 12 - 14

【戦評】

前半は相手のペースで試合を進められ、なかなか敵陣に攻め入ることができず、苦しい展開となった。後半にはいり、徐々に立て直す攻めきることができず敗北という結果になった。

ディフェンス面、オフェンス面の両面で課題の残る試合となった。



第2節 9月25日(日) 11:00 K.O

於: 大阪市立大学G

●神戸大学 12 - 48 ○桃山学院大学

前半 1 T 3 後半 1 T 5

0 G 0 1 G 4

計 5 - 15 計 7 - 33

【戦評】

前半はBKを中心に良い攻めを見せるもトライをとりきることができず、逆に小さなミスから相手にトライを許してしまうという展開になった。後半になると、神大にミスが目立ち始め立て続けにトライを許してしまい、そのまま

敗北という結果になった。

攻め方や個々のタックルなどに課題の残る試合であった。

第3節 10月2日(日) 11:00 K.O

於：大阪市立大学G

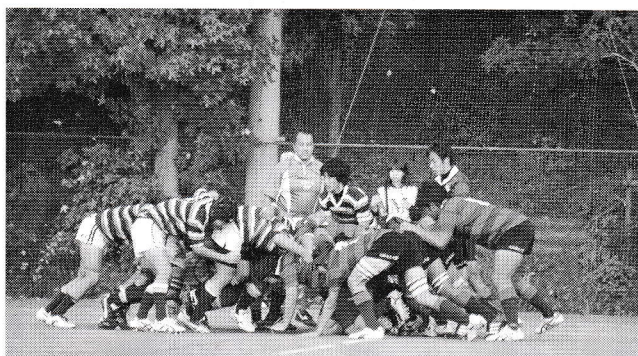
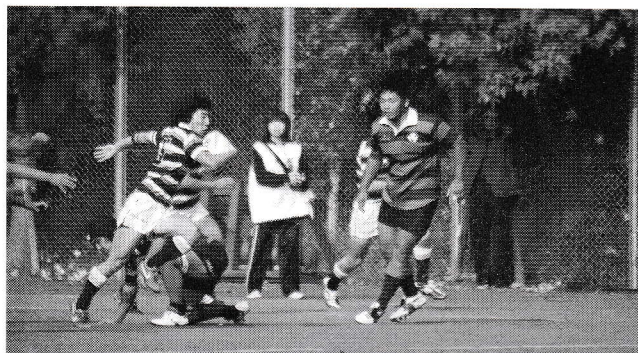
●神戸大学 15 - 17 ○神戸大学医学部

前半	1	T	1	後半	2	T	1
	0	G	1		0	G	1
計	5	-	10	計	10	-	7

【戦評】

前半から拮抗した展開となった。後半はキックで陣地をとるなどして、敵陣でのプレーが増えるも攻めきれず、結果的にキックでの得点差で敗北した。

これまでの試合と同様、オフェンス面ディフェンス面の両面で課題の残る試合であった。



第4節 10月16日(日) 11:00 K.O

於：大阪府立大学G

●神戸大学 8 - 17 ○追手門学院大学

前半	0	T	2	後半	1	T	1
	0	G	1		0	G	0
計	0	-	12	計	8	-	5

【戦評】

前半は風下であったため耐える試合運びとなった。比較的良い展開となったが、やはり少

しのミスからトライに結び付けられてしまった。後半に入るとキックを多用して、敵陣でプレーをすることができたが、なかなかトライにつなげることができなかった。

敗北という結果にはなったが、オフェンス面ディフェンス面の両面で改善されてきているように感じた。

第5節 10月23日(日) 13:00 K.O

於：大阪国際大学G

△神戸大学 24 - 24 △大阪国際大学

前半	3	T	2	後半	1	T	2
	2	G	2		0	G	0
計	19	-	14	計	5	-	10

【戦評】

前半開始直後立て続けにトライを奪われるも、すぐに立て直し、前半はリードして折り返した。後半に入り逆転されるも後半終了間際にトライを返し引き分けという結果になった。

これまでの試合よりもオフェンス、ディフェンスの両面でミスも減り、粘りも見えた試合であった。

観戦記 大阪国際大戦

東京支部 室賀 隆 (S43卒)

試合結果は引き分けでした。ただ、内容的には勝っている試合で、なぜ勝てないのか不思議でしたが、これは今迄の全試合に共通することだそうです。(千歳、吉川理事談) 試合前の練習からじっくり見ましたが、ランパスを見ると誰がバックスで誰がFWか解らない位、昔と違って皆んなパスは上手です。別の見方をすると、FW、BKの一般的な体格的特長が無い、小さなFWとも言えます。

昔で言うゴロパン、Pick & Goの練習では、形は綺麗に出来ているが、受ける瞬間のワンダッシュ、Pick後の相手との接触を想定した「当たりの形」が全くと言っていい程ありません。要は、形の練習になっていて「形は悪くても一歩でも前が出る」という原点とも言うべき気迫が感じられませんでした。

試合が始まると案の定、前半は当たりが弱く、BKのディフェンスも「待つて」タックルするため、簡単にゲイン・ラインを超えられるとい

う状態です。

BKは、「待つから相手に走られ」、「走らせるから相手はスピードに乗り」、「一層腰が引けるから更に走られる」という悪循環に陥っていました。

前半半ばごろからコーチの三木さん(神戸製鋼OB、SO)から「ボックス、上がれ上がれ」と声を囁らして指示され、やっとこれに順応して前で止められるようになったという実態でした。なお、この三木コーチの指示はこれ以外にも全体的に実に的確でした。強化のためには、もっと彼に任せるといふ手もあるなと思いました。

後半半ばからは、神戸大も前に出だし、タックルも決まり、何故これが前半から出ないのか不思議でした。

○強化策、そのために東京支部として支援があるか。

先ず新人の入部ですが、毎年20名前後のラグビー経験者の入学があり、経験者のリストアップは出来ています。

ただし、このうち入部して来るのは、6、7名とのこと。経験者のためのオープン練習会をしたり、その後及び適宜、勧誘の取り組みをしているようですが、歩留まりは前述の通り1/3程度とのこと。この為の費用として20～30万円をOB会から援助しているそうです。

北野、天王寺、茨木高校などの高校の先生とのコンタクトも出来ており「この選手は良い、やりそうだ」等の連絡は貰っているようですが、最近の新生は先生に入部を強く勧められると却って反発して入らないというような難しさがあるようで、高校の先生からの入部リコメンドはお願いしていないそうです。私事で恐縮ですが、天王寺の後輩で京大でラグビーではなくアメリカンフットボールを選んだ男の理由は、「アメリカンなら日本一になれるから」とのことだったそうです。入部に踏み切らせるには、「強い」ことが必要で、今の神戸大は弱いから入らない、部員が少ないから弱いという悪循環のようで、この話は、鶏が先か、卵が先か、の議論になってしまいますが、私は、とにかく「今のメンバーで強くすること」しか策が無いと思います。

現在、部員は25名程度で、練習でエイトの

スクラムを組めないとのこと。先輩のいる大阪ガス等と秋になってから練習をして貰ってエイトのスクラムが組めたそうで、吉川会長代行も合同練習を春からやるのが一つの強化策とのことでした。若手OBに練習台になってやってくれと言っても無理な話なので、私もこの大阪ガス等の合同練習がいいと思います。更に、神戸製鋼にも、1回でいいからやって貰えれば良いのですが・・・この点を含めて、三木コーチと良く話し合っ、もっと支援して貰う、ここにお金を使うというのが一つの案かと思いました。



第6節 10月30日(日)11:00 K.O

於：大阪府立大学G

●神戸大学 7 - 32 ○大阪学院大学

前半	0	T	5	後半	1	T	1
	0	G	1		1	G	0
計	0	-	27	計	7	-	5

【戦評】

前半は大阪学院のペースとなったが、随所に粘りのあるディフェンスが見られた。後半に入り、大阪学院の猛攻が続いたが神大も激しいディフェンスでしのぎ、攻め込む場面も増えた。

結果的に敗北とはなったが、後半は特にオフense、ディフェンス面ともに良いプレーが多々見られた。



第7節 11月13日(日) 13:00 K.O

於:大阪国際大学G

○神戸大学 24 - 17 ●大阪府立大学

前半	2	T	1	後半	1	T	2
	0	G	0		0	G	1
計	10	-	5	計	14	-	12

【戦評】

前半からお互い攻防が続き、競った展開となる。相手は身体の大いキィフォワードを中心の攻めを続けるが、神戸大学は激しいディフェンスで食い止め、逆にバックスへの展開から得点へと結び付けた。

競った展開は後半まで続くが、最後は神戸大学の激しいディフェンスで押切り、勝利という結果になった。

攻守ともに良いプレーの多い試合であった。

第8節 11月20日(日) 11:00 K.O

於:追手門学院大学G

●神戸大学 10 - 36 ○大阪大学

前半	0	T	2	後半	2	T	4
	0	G	2		0	G	1
計	0	-	14	計	10	-	22

【戦評】

前半から、自陣深くに攻め込まれ、相手の重いフォワードに押し切られるという展開が続いた。ディフェンスも府大戦でみせたような激しさにはわずかに足らず、陣地の確保も徹底できないなど、細かな課題の残る試合であった。

第9節 11月27日(日) 15:00 K.O

於:追手門学院大学G

○神戸大学 38 - 24 ●大阪市立大学

前半	3	T	2	後半	3	T	2
	1	G	1		3	G	1
計	17	-	12	計	21	-	12

【戦評】

前半開始直後、自陣深くまで攻め込まれ重いフォワードの攻めにより、そのままトライを許すも、バックスへの展開によってトライを返し、落ち着きを取り戻した。その後は激しいディフェンスや陣地をとってからのテンポのよい展開をみせ、トライを重ねた。

神戸大学の型がうまくはまった良い試合だったと思う。

入替戦・試合結果

引き分け・辛うじて残留!

関西大学ラグビーは、Aリーグが8校、Bリーグ及びCリーグは10校、Dリーグは、1、D2、D3、D4の4グループに分かれ各グループ、7~8校で構成されています。

入替戦は、協会の規約に基づき、Aリーグの下位2校とBリーグ上位2校、Bリーグ下位2校とCリーグの上位2校が戦います。

Dリーグが4グループに分かれているため、Cリーグ下位4校がDリーグ、各グループの優勝チーム、4校と戦います。

わが神戸大学は、下位2位のため、D2位の関西外国語大学と入替戦を行ないました。

12月18日(日) 14:00 K.O

於:関西外国語大学G

△神戸大学 22 - 22 △関西外国語大学

前半	3	T	3	後半	1	T	1
	0	G	1		1	G	0
計	15	-	17	計	7	-	5

【戦評】

前半開始直後、バックスへの展開によって立て続けにトライを奪う。しかし、フォワードのミスが続き、徐々に相手のペースとなり、思うような試合運びができなかった。後半も相手のフォワードに押され苦しい展開となった。

結局は粘りきって、引き分けに持ち込んだが今年の課題が強く出てしまった試合であった。

OB会費納入・ご寄付のお願い

当OB会の運営及び現役への補助は、すべてOB会員からの会費、寄付金で賄われております。

恐れ入りますが、未納者は大至急、納入して下さいますよう、お願い申し上げます。

年会費10,000円 振込先は「凌霜ラグークラブ」

○三井住友銀行・天満橋支店

普通預金 口座NO.957978

○三菱東京UFJ銀行・大阪駅前支店

普通預金 口座NO.27557

○郵便局 00960-4-302152